

福島原発事故をどうみるか

事態の全貌が分からないままでの対応

「原子力の『安全神話』は完全に崩壊したように見えます。そして、日本のエネルギー政策、原子力行政そのものが、実は根底から問われているのではないかと。番組冒頭、この問題提起した二木氏は、原発災害問題で不破氏の講義を収録したパンフレット『「科学の目」で原発災害を考える』をクローズアップ。「原発そもそもの仕組み・問題点から。(不破氏が)国会で歴代の総理に原発行政のあり方について厳しく追及されてきたものがまとめられたもので、なかなか話題の本」(二木氏)と紹介し、不破氏に福島原発事故の現状認識をたずねました。

これに対し不破氏が力説したのは、「安全神話」を建前に原発を推進してきた政府、電力業界が一体何が起きているのかわかっていない、という問題です。一番知っているはずのメーカー側も原発をつくる技術は知っているものの、事故を収束させる技術は知らない状態です。原発災害発生から3ヵ月と2週間がたつた不破氏は「相手は放射能の塊。それをいかにくい止め、日本の国民、国土の安全、健康、生命、世界の環境を守るかというのがいまのせめぎあいなんです。(原発災害が)起きたときの非常事態はいまでも続いています」として次のように述べました。

不破 原子炉がどこまで壊れたか、なかでもメルトダウン(炉心溶融)が起きたのかどうかが一番問題になるのですが、政府も電力会社もずっと「起きていません」といい続けてきました。(東京電力は)4月17日に工程表をつくりましたが、あの工程表は、(原子炉は)部分的には壊れているけれども、基本は大丈夫、メルトダウンは起きていませんというのを前提につくった工程表なんです。

ところが、私も驚いたんですが、それから2ヵ月近くたったときに日本政府がIAEA(国際原子力機関)に出した報告書のなかで、初めてメルトダウンが起きていたということを発表した。もう(そうなったら)実態はがらっと変わるわけですよ。しかもこの報告書を見ますと、メルトダウンだけではない。とけた燃料棒が一番頑丈な压力容器の厚さ16mmの鋼鉄板をもとがして、大部分がここ(格納容器の底)にまで落ち込んでいるんじゃないかというのがいまの想定なんです。ところが、ここにきたものがどんな状態にあるかということを目でわからない。工程表はここ(压力容器内)にちゃんとあることが前提です。(格納容器の底)に落ちているんだったらそれこそ大ごとで、いままでの工程表の段取りも目標もやり方も全部ご破算になるぐらいの話なんです。ところが工程表は全然変わらないという。

二木 工程表ではなく、「期待表」みたいなところがありますね。



日米安保条約廃棄通告で、在日米軍基地の全てを再生可能エネルギー基地に変えましょう!

続いて不破氏は、福島原発の水素爆発で。炉心にあった「死の灰」の1%の放射能が空中に出たとされるが、放射能を閉じ込めるには残りの99%が問題だと述べ、その角度から汚染水対策の現状に警告を發しました。

不破 完全に解決するには、(残りの)99%を解決しなければいけないんですが、それがいま水を経由して汚染水となって外に出始めている。汚染水といわれているのは、これは閉じ込めておかなければいけない放射能を、原子炉の中に閉じ込められないで、水が担い手になってどんどん外に出つつあるというのが現状なんです。だから汚染水処理という後始末をやっているみたいに見えますが、そうではなくて、ほんとにこの放射能が日本に広がる、世界に広がるのをくい止めるかどうかのまさに非常事態の瀬戸際にいるんですよ。

二木 放射能汚染水の処理というのは後始末ではなくて、ほんとにすごい事態が始まっている象徴だと。

不破 その汚染水なんです、いま11万トンのたまっているといわれているんですね。ところが、11万トンのたまっているというので、10万トぐらい入る大きな集中処理施設をつくりまして、そこで大部分移したはずなんです。しかし、移しても減らないんですね。ということは、外のどこかに大きなプールができてしまって、それが地下水とつながってもっと巨大な汚染水となっているのではないかと考えられるんです。これもわからない。(汚染水の全貌が)わからないまま処理体制に向かっている。だから、ほんとにこのままだと危機がどんどん拡大する危険があると思って心配しているんです。

不破質問(1976年~1999年)のなかに「いまの原発の現状が全部ある」(二木氏)の部分は紙面の関係で省略します。(2011年6月29日「しんぶん赤旗」参照)

使用済み核燃料問題10万年、 100万年後の人類に脅威の先送りは許されない

テーマは、いまある原子炉と使用済み核燃料の処理問題に。二木氏は「心配なのは、原子炉の老朽化の問題と使用済み核燃料の問題ですね。再処理ができるといってもできていない。いや、そもそもできないんじゃないかということがあると思うんですが」と質問。裏面に続く



日本共産党福生市委員会は上記の見解を發表しました。

原発ゼロをめざす7.2緊急行動
とき 7月2日(土)
ところ 明治公園
開会 11:00 → 終了 16:00

福生民報 2011年7月号 No.004
発行 日本共産党福生市委員会
責任者 松山 清
福生市熊川689-18
連絡先 奥富喜一 090-8955-2831
池田公三 090-7946-5137